

# 安倍外交の

# 課題



川上高司

## ●2●

米国の「正義」に裏付けられた「力」の行使に、国際社会で反対するものは誰もいない。現時点では、

以上の巡視船200隻以上を保有している(米国防総省)。「航行の自由」を掲げて哨戒活動を行う米艦船は今後、これらの巡視船や漁船に包囲される可能性があるのだ。

「歴史は作られる」(英歴史学者、E・H・カー)  
中国は国家戦略を100年単位で考え、米国は4年単位で考える国である。この観点からすると、どのくらい米国が戦争に至らない「新たな対立」を維持できるのか。

「新たな米中対立の時代」が始まった。これに対する安倍晋三政権の戦略が問われる。

「航海の自由」は国際法上認められたものであり、南シナ海の岩礁を勝手に埋め立てて軍事基地化して「自国の領土・領海だ」と強弁する中国に正義はない。米国は10月27日、警告通り、中国の作った人工島の12ヶ(約22キ)内で、イージス駆逐艦「ラッセン」を航行させた。

現在、米国は大統領選挙の真つただ中にある。米中が軍事衝突すれば選挙の争点となり、新大統領は「対中強硬政策」へと舵を切り直し、オバマ政権の対中宥和政策も終わりとなくなるだろう。

しかし、新たな米中のパワー・ゲームは、紛争までエスカレーションしない「非正規戦での争い」となるはずだ。

# 南シナ海で米中新たなパワー・ゲーム 日本の「法と秩序」がカギに

これに対し、中国はミサイル駆逐艦「蘭州」とフリゲート艦「台州」を派遣した。ただ、それは抑制的なものだった。

中国は、南シナ海には南海艦隊(116隻)のほか、500ト級

船をかき集めても対抗できない。中国の巡視船に対しては、米軍はROE(交戦規定)により軍事力行使は抑制的とならざるを得ず、中国の海洋優勢を招く可能性もある。

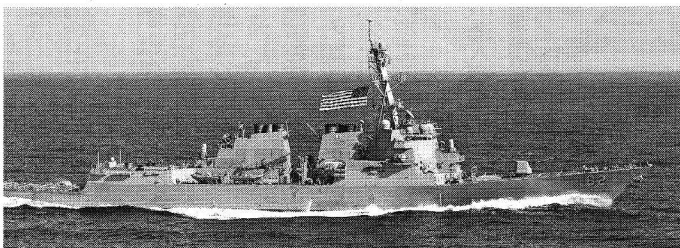
日本にそのカギがある。日本は東シナ海のみならず南シナ海に「法と秩序」の維持に積極的に尽くさなければならぬ。南シナ海で「法の支配」が崩れれば、東シナ海にも即、影響が及ぶ。

「正義なき力は暴力であり、力なき正義は無力である」(仏哲学者、パスカル)

「正義」はあるが、安倍政権は自衛隊のアセット(＝軍事的資産・

能力)を、どれほど南シナ海に回せるのか、南シナ海に「法と秩序」を維持する連合を構築し維持できるか。安倍政権に課せられた課題は重い。

「法と秩序」を掲げる日米に



南シナ海の監視・哨戒活動を行う米イージス駆逐艦「ラッセン」(ロイター)

「正義なき力は暴力であり、力なき正義は無力である」(仏哲学者、パスカル)

中国は、南シナ海には南海艦隊(116隻)のほか、500ト級

船をかき集めても対抗できない。中国の巡視船に対しては、米軍はROE(交戦規定)により軍事力行使は抑制的とならざるを得ず、中国の海洋優勢を招く可能性もある。

日本にそのカギがある。日本は東シナ海のみならず南シナ海に「法と秩序」の維持に積極的に尽くさなければならぬ。南シナ海で「法の支配」が崩れれば、東シナ海にも即、影響が及ぶ。

「正義」はあるが、安倍政権は自衛隊のアセット(＝軍事的資産・能力)を、どれほど南シナ海に回せるのか、南シナ海に「法と秩序」を維持する連合を構築し維持できるか。安倍政権に課せられた課題は重い。

(拓殖大学海外事情研究所所長)